2026年11月４日

各　位

会 社 名　玉井商船株式会社
代表者名　代表取締役社長　清崎　哲也
（東証スタンダード・コード9127）
ＵＲＬ　https://www.tamaiship.co.jp
問合せ先　取締役経理部長　池埜　大輔
ＴＥＬ　０３（５４３９）０２６０

2027年３月期第２四半期（中間期）業績予想との差異に関するお知らせ

2026年８月５日に公表した2027年３月期第２四半期（中間期）の連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

・2027年３月期第２四半期（中間期）連結業績予想数値と実績値との差異
（2026年４月１日～2026年９月30日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	１株当たり中間純利益
前回発表予想（Ａ）	2,700	510	530	320	209円15銭
実績値（Ｂ）	2,869	654	659	440	287円93銭
増減額（Ｂ－Ａ）	169	144	129	120	
増減率（％）	6.3％	28.2％	24.3％	37.5％	
（ご参考）前期第２四半期実績（2026年３月期第２四半期）	2,473	124	47	70	36円51銭

（注）前期第２四半期実績は、会計方針の変更に伴い遡及修正が行われたため、遡及修正後の前期第２四半期数値として記載しております。

・差異の理由

外航船の動静において、一部予定していた貨物輸送から短期貸船へと変更があったため、運航費(費用)の減少があり、また、為替相場も想定レート157円から７月～９月の実績レートで160.08円と円安で推移したため利益増大要因となりました。

また、海外子会社において、定期検査及び中間検査に係る費用を見直した結果、人件費や原材料費等の高騰に伴い費用(特別修繕引当金繰入額)が増加する見込みとなりました。その結果、親会社の所得に合算課税する海外子会社利益相当分の繰延税金負債の計上額が予想よりも減少し、法人税等調整額も同額減少したため親会社株主に帰属する中間純利益が増加しております。

以　上